

認知症ケア・終末期ケアに携わる方、在宅で最期まで療養したい方を支える方**必見!!**

認知症ケア&看取りケア研修会

認知症の方、終末期の方がその人らしく最期まで豊かにその人らしい生活できるための多職種連携の支援方法をさまざまな視点から学んでいただけます。現場での認知症ケア・看取りケアの実践からワンランク上のかかわり方を見いただけます。

1 実践的！看取りケア研修会 2016

大阪会場

2016年1月31日(日) 10:00~17:00

ATCホール

(大阪府大阪市住之江区南港北2-1-10)

東京会場

2016年2月14日(日) 10:00~17:00

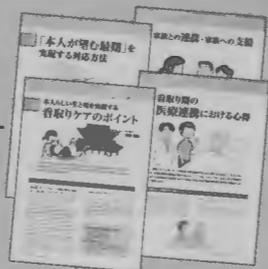
中野サンプラザ

(東京都中野区中野4-1-1)

参加費 12,000円(税・資料代込)

参加特典

参加者全員に
A~Dコースの
資料をすべてお渡します



※イメージです

2 実践！認知症ケア研修会 2016

福岡会場

2016年2月28日(日) 10:00~17:00

福岡県中小企業振興センター

(福岡県福岡市博多区吉塚本町9-15)

大阪会場

2016年3月13日(日) 10:00~17:00

大阪府教育会館

(大阪府大阪市天王寺区東高津町7-11)

横浜会場

2016年3月26日(土) 10:00~17:00

ウィリング横浜

(神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1)

参加費 10,000円(税・資料代込)

その他 各時間帯好きな分科会に
参加いただけます(出入り自由)

※本研修は日本認知症ケア学会単位認定講座です
(認知症ケア専門士単位:3単位)

各研修
こんな内容を学びます!!

同時申し込みでより質の高いサービスを実現!

〈看取りケア〉

- ・本人が望む最期を実現する看取りケアの進め方
- ・看取りケアにおける職員の心理的不安の軽減法
- ・チームケアを実現する意識統一の工夫
- ・看取りケアにおける介護と医療の連携
- ・情報共有をスムーズにする書類・記録の残し方
- ・看取り期の摂食困難を支援する食事介助
- ・看取りケアの質を高める気付き力
- ・ご利用者・スタッフの死生観教育
- ・ご家族への専門職としての姿勢
- ・看取りケアの経験を次に生かす工夫

〈認知症ケア〉

- ・中・重度認知症の方へのプログラムの考え方と評価
- ・生活リズムをつくる活動やプログラムの工夫
- ・認知症の方の自立を支援するためのアプローチ
- ・BPSD や拒否が起きてしまう原因の理解
- ・「認知機能障害」と「行動心理症状」のつながり
- ・記憶力、認識力の評価方法と低下を防ぐケアの工夫
- ・手続き記憶を活用したアプローチ方法
- ・認知症ケアの行き詰まりを生み出す「箱」を見つける
- ・場面理解の引き出しを増やすアセスメント方法
- ・ケアプランや計画書を個性あるものへ見直す

詳しい内容は中面をご覧ください



実践的!

1 看取りケア研修会

その人らしい最期を迎える場面に必要な
対応力を養う実践的プログラム!

もっと詳しい情報は **看取りケア研修会**
WEBにてご確認ください

選べる4コース 経験豊富な講師陣が看取りのプロセスを重視した支援方法を伝授

A コース	分科会テーマ 分科会① 10:00～12:00 分科会⑤ 12:50～14:50 分科会⑨ 15:00～17:00	最期までその人らしい生活を支える 看取り介護の工夫	西久保 孝子 氏 社会福祉法人きらくえん 高齢者福祉施設けま喜楽苑 施設長
		看取りケアの不安を和らげる 職員のストレスケア	
		看取り時の カンファレンス と看取り後の カンファレンス	
B コース	分科会テーマ 分科会② 10:00～12:00 分科会⑥ 12:50～14:50 分科会⑩ 15:00～17:00	看取りケア時の 書類・記録・ケアプランのポイント と工夫	神谷 貴志 氏 特別養護老人ホーム高浜安立荘 主任グループリーダー
		看取りケアにおける 情報共有・連携 の工夫	
		看取りケア時の「 口から食べる 」の支援	
C コース	分科会テーマ 分科会③ 10:00～12:00 分科会⑦ 12:50～14:50 分科会⑪ 15:00～17:00	看取りケアの 質の向上 と 質の評価	柴田 久美子 氏 一般社団法人なごみの里 理事 一般社団法人日本看取り士会 代表理事
		死を深く理解するために	
		旅立ちがプラス に変わるための アプローチ方法	
D コース	分科会テーマ 分科会④ 10:00～12:00 分科会⑧ 12:50～14:50 分科会⑫ 15:00～17:00	最期を見つめ、命を考える 死生観 を育てる 教育のポイント	小川 利久 氏 株式会社エイジング・サポート 代表取締役 小林 悦子 氏 生活を支える看護師の会 主宰
		看取りケア実施における 意思の再確認 と 不安・気持ちのゆらぎ への対応	
		グリーフケア の 実際	

分科会の内容

A コース 本人と家族が落ち着いて過ごせる環境づくり

西久保孝子氏の**専門職に求められる看取りケアの姿勢**

【当日の内容】※内容は変更になる場合があります

分科会①

最期までその人らしい生活を支える**看取り介護の工夫**

- ・「どう死ぬか?」ではなく「どう生きるか?」 その人らしさを支援するということ
- ・看取り期における「食」の支援について～「味彩食」の取り組み～
- ・環境もケアの重要な要素! 環境の整え方
- ・「けま喜楽苑」における看取り介護の実際(事例紹介) など

分科会⑤

スタッフの**看取りケアの不安**を和らげる**職員のストレスケア**

- ・多職種連携～チームケアに欠かせない福・連・相のポイント～
- ・ターミナルケア委員会の活動と職員への看取り教育の実際
- ・その不安はどこから? 「無知」による不安と「経験不足」からくる不安 など

分科会⑨

看取り時の**カンファレンス**と看取り後の**カンファレンス**の工夫

- ・看取りのカンファレンスで共有すること
- ・家族の思いやゆらぎを受け止める。家族を交えたカンファレンスの実際
- ・経験の浅い職員を育てる。看取り後のカンファレンス
- ・【事例紹介】施設での「お別れ会」遺族を交えて「しのび会」 など

B コース 本人らしい生と死を実現する看取りケアのポイント

神谷貴志氏の**その人らしい最期につなげる支援の工夫**

【当日の内容】※内容は変更になる場合があります

分科会②

看取りケア時の**書類・記録・ケアプランのポイント**と工夫

- ・できる限り後悔のない判断をしていただくための確認事項と意見交換
- ・本人の願いを叶え、「その人らしい最期」につなげる(普段の何気ない会話から企画へ)
- ・看取りケア時でも基本的なプランはそのままに支援を継続
- ・高浜安立荘で実際に使っている書類・プランを基に工夫しているポイントの紹介 など

分科会⑥

看取りケアにおける**情報共有・連携**の工夫

- ・施設内で看取った方の事例提示で情報に触れる機会をたくさんつくる
- ・嘱託医による看取り期の説明・看取りの考え方を家族へ講義
- ・ご家族へ実際の看取りケアを施設へ見に来ていただく機会を設けるための工夫
- ・高浜安立荘で実際にやっているケアを統一するための医師・職員・家族連携 など

分科会⑩

看取りケア時の「**口から食べる**」の支援

- ・看取り期の食事介助・食事摂取の難しさ
- ・食事介助時の環境の工夫
- ・食事摂取が「まだできる」「できない」と判断する基準 など

C コース 看取ることによって手渡される生命のバトン

柴田久美子氏の**幸せに旅立つためにすべきこと**

【当日の内容】※内容は変更になる場合があります

分科会③

看取りケアの**質の向上・質の評価**

- ・看取りの現場で悲しみを包み込む深い心を表す作法
- ・看取りの場面で求められる人としての作法
- ・人としての「力」
- ・「言葉の力、折りの力」 など

分科会⑦

死を深く理解するために

- ・自己理解をすること
- ・プラスの死生観
- ・看取りとは?
- ・グリーフケアの捉え方 など

分科会⑪

旅立ちがプラスに変わるための**アプローチ方法**

- ・看取りケアの実際
- ・その人にとっての「良き死」とは?
- ・メンタルケア
- ・ご本人に向けて・ご家族に向けて など



D コース 仕事の価値を変える看取り援助

小川利久氏・小林悦子氏の**看取り援助の正しい理解**

【当日の内容】※内容は変更になる場合があります

分科会④

最期を見つめ、命を考える **死生観**を育てる**教育のポイント**

- ・法人&施設の方針決定とマネジメントから見た看取り援助
- ・社会背景と制度的要件、QOL から QOD へ
- ・看取りと看取り援助の違い、急変対応と看取り援助の違い
- ・看取り援助委員会の設立と運営、他職種連携の心構えと手法 など

分科会⑧

看取りケア実施における**意思の再確認**と**不安・気持ちのゆらぎ**への対応

- ・家族説明のポイント(入居時・看取り期) ・エンゼルケアから施設内お別れ会
- ・看取り援助のアセスメント手法、意向確認手法、記録、住環境の整え方
- ・摂食嚥下機能評価による食べる支援、経管栄養の実際
- ・家族の死の準備教育の進め方(家族看取り援助勉強会の主目と開催手法) など

分科会⑫

グリーフケアの**実際**

- ・看取り援助のテーマづくり「いのちをつなぐ」から「ものがたり」へ
- ・抱びのカンファ、グリーフケアへ「いのちをつなぐ」・看取り援助の事例から学ぶ
- ・施設の看取り援助から地域(在宅ケア)における看取り援助へ
- ・看取り援助の標準化に向けて ・「グリーフケア専門士」の紹介 など

実践!

2 認知症ケア研修会

ケアの質を高めるために必要な視点と
かかわり方を探り、悩みや課題を的確に解消!

もっと詳しい情報は WEB にてご確認ください **認知症ケア研修会**

プログラム

各時間帯で参加したい分科会を自由に選択できる全12講座

講師	川畑智氏 (福岡・大阪会場) 松岡佳美氏 (横浜会場)	講師	渡辺哲弘氏 (福岡・大阪・横浜会場)	講師	山口健一氏 (福岡・大阪・横浜会場)	講師	ペ ホス氏 (福岡・大阪・横浜会場)	
10:00	分科会① 中・重度認知症の方への アクティビティとその工夫	分科会② 入浴・更衣・排泄拒否が ある方へのアプローチ	分科会③ 記憶力低下に対する ケア・環境設定の工夫	分科会④ 理由を探る! 認知症ケア① なぜ、認知症ケアに 行き詰まるのか?	休憩			
12:00	休憩							
12:50	分科会⑤ 認知症の方の 潜在能力を引き出す コミュニケーション法	分科会⑥ 認知症の方が食事を 拒否してしまう原因と アプローチ	分科会⑦ 認知力が低下した方への アプローチの工夫	分科会⑧ 理由を探る! 認知症ケア② シーン・アセスメントで チームの視野を広げる	休憩			
14:50	休憩							
15:00	分科会⑨ 認知症の方への 自立支援のアプローチ (活動・参加を重点的に)	分科会⑩ 通いを拒否する人・ 帰宅願望がある方への アプローチ	分科会⑪ 手続き記憶を活用した 認知症の方の ADL を高める工夫	分科会⑫ 理由を探る! 認知症ケア③ 個性のあるプランへの工夫	休憩			
17:00	休憩							

分科会の内容

福岡・大阪会場

瞬間的な判断、継続的な情報収集で自信の回復に繋げる

川畑智氏の多角的な視点で答えを紐解く方法

株式会社 Re学 代表取締役 / 理学療法士

【当日の内容】※内容は変更になる場合があります

分科会① 中・重度認知症の方へのアクティビティとその工夫

- ・認知症の方のレベルに合ったアクティビティがうまくいかない理由
- ・プログラム実施には十分な評価とフィードバックが必要
- ・認知症の方の消失能力と残存能力の整理
- ・認知症の病期に合わせたプログラム提供の考え方 など

分科会⑤ 認知症の方の潜在能力を引き出すコミュニケーション法

- ・認知症の方の「不安」を解消するかわり方
- ・消失した能力を補おうとする中で起こる心の葛藤を理解する
- ・「不安の解消と自信の回復」をするコミュニケーションスキル
- ・ケア3本柱(フラッシュケア、ストックケア、ダイレクトケア) など

分科会⑨ 認知症の方への自立支援のアプローチ(活動・参加)

- ・認知症の方の社会参加と地域社会の運動
- ・地域の中で社会的な役割を見つけてながら生活をする
- ・認知症が気になる生活を実現するための支援方法
- ・地域住民を巻き込むためにすべきこと など

横浜会場

認知症の方の残存能力を引き出すケア・考え方のコツ

松岡佳美氏の感情を豊かにするアプローチ

NPO法人認知症ケア研究所
デイサービスセンターお多福茨城町 管理者

【当日の内容】※内容は変更になる場合があります

分科会① 中・重度認知症の方へのアクティビティとその工夫

- ・アクティビティ・ケアの考え方・環境設定のポイント
- ・アクティビティプログラム作成の方法
- ・プログラム活用でスムーズな AC 導入!
- ・身の周りにあるものでゲームを皆さんで楽しみましょう など

分科会⑤ 認知症の方の潜在能力を引き出すコミュニケーション法

- ・認知症の方と楽しむコミュニケーション術
- ・「高齢者」と「認知症の方」とのコミュニケーションの特徴
- ・事例を通して「どう対応するのか」「その発言のウラにあるメッセージ」をひも解く など

分科会⑨ 認知症の方への自立支援のアプローチ(活動・参加)

- ・今ある力をどう見極めて、いかに発揮してもらうのか
- ・自立支援における「見守り」と「観察」のポイント
- ・活動や参加意欲をアップさせるコミュニケーション術 など

福岡・大阪・横浜会場

介護職が知りたいBPSDや拒否への対応法

渡辺哲弘氏の「こころ」を理解するケアの実践

株式会社さくらめき介護塾 代表取締役 / 認知症介護指導者

【当日の内容】※内容は変更になる場合があります

分科会② 入浴・更衣・排泄拒否がある方へのアプローチ

- ・私たちは普段、どのように考え行動しているのかを理解する
- ・「認知機能障害」と「行動・心理症状」のつながりを理解する
- ・「お風呂に入りたくない利用者さんの言葉をどう理解するかが大事
- ・「服が自分で着替えられない」ってどういうこと? など

分科会⑥ 認知症の方が食事を拒否してしまう原因とアプローチ

- ・「人が食事を認識する」そのためにどんな要素が必要かを考える
- ・記憶障害、失認、失行への総合的なアプローチで解決
- ・「どうしてご飯を食べたくないの」あなたは普段どれたけのことを考えていますか? など

分科会⑩ 通いを拒否する人・帰宅願望がある方へのアプローチ

- ・通いたくなくなるためのアプローチとは
- ・大事なことは記憶障害の理解とケアマネジャーとの連携
- ・「帰宅願望」ってなに? 認知症の人、特有の症状ですか?
- ・スーパー銭湯を例に考えてみよう など

福岡・大阪・横浜会場

想像や発想、アイデアのヒントを見つける

山口健一氏の日常生活に役立つ認知症ケアの工夫

株式会社 バイタル エフステージ白木せいかつのデイ 作業療法士

【当日の内容】※内容は変更になる場合があります

分科会③ 記憶力低下に対するケア・環境設定の工夫

- ・記憶の仕組みについて
- ・記憶力の評価方法とその工夫
- ・記憶力低下を防ぐための訓練の紹介とグループワーク
- ・現在エフステージ白木せいかつのデイで取り組んでいる事例 など

分科会⑦ 認知力が低下した方へのアプローチの工夫

- ・脳の仕組みと認知力について
- ・認知力の評価方法とその工夫
- ・認知力の低下を防ぐアプローチ方法と活動の工夫
- ・実例を踏まえてのグループワーク など

分科会⑪ 手続き記憶を活用した認知症の方のADLを高める工夫

- ・手続き記憶について
- ・認知症の方の ADL 評価方法とその工夫
- ・手続き記憶を活用した ADL アップのアプローチと事例紹介
- ・実例を踏まえてのグループワーク など

福岡・大阪・横浜会場

行き詰る認知症ケアの打開策を見つける

ペ ホス氏のワンランク上のアセスメント術

アプロクリエイト 代表 / 介護支援専門員

【当日の内容】※内容は変更になる場合があります

分科会④ なぜ、認知症ケアに行き詰まるのか?

- ・「見立て：手立て=8：2」くらいがちょうどいい
- ・ペ ホス考案の「ケア・フレーム」で認知症ケアの悩みを振り返る
- ・ケアの行き詰まりを生み出す「箱」を見つける
- ・「箱」から解放されるコツをつかむ など

分科会⑧ シーン・アセスメントでチームの視野を広げる

- ・「概要(アウトライン)」ではなく「場面(シーン)」をアセスメントする
- ・「体験」を理解する3つのプロセス
- ・「場面」のとらえ方
- ・場面理解の引き出しを増やす など

分科会⑫ 個性のあるプランへの工夫

- ・個性のあるプランになるとどんな効果があるのか
- ・「ニーズ」目標に個別性を持たせるポイント
- ・「サービス内容」に個別性を持たせるポイント
- ・現在使用しているプランを見直してみる など

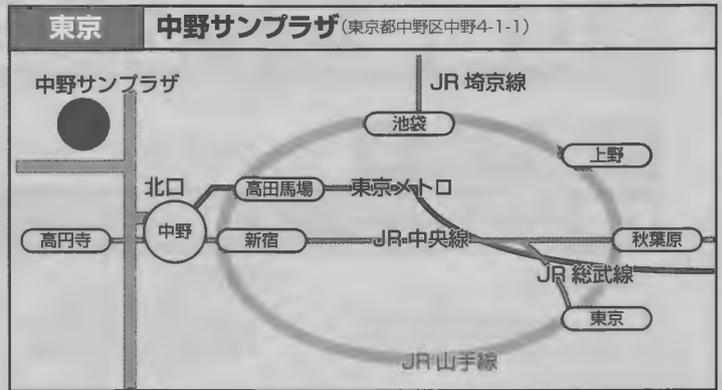
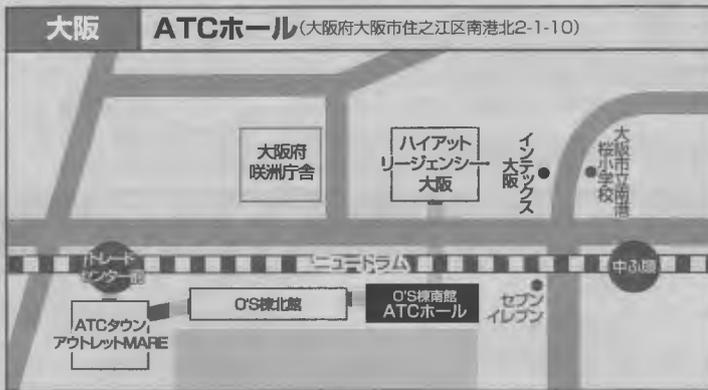
参加する前に押さえておきたい

ワンポイント

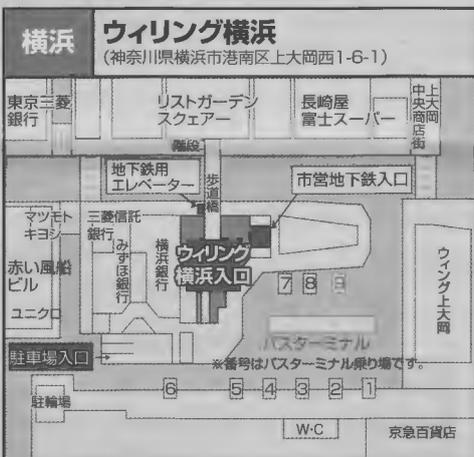
- ① 目的とねらいを定め、認知症の方の「活動・参加」を促す実践を知る
- ② 拒否や BPSD の根源をひも解くケアの工夫
- ③ 認知症予防・残存能力を高めるケア技術
- ④ 視野を広げアプローチの幅を出すワンランク上のアセスメント

この分科会へ参加される方は
ケアプラン及び計画書をご持参ください

看取りケア研修会 会場



認知症ケア研修会 会場



お申し込み方法と 注意事項

- 参加費の納付をもって正式申し込みとなります。なお、ご入金後の参加費の返金はいたしません。参加者の変更は可能です。お申し込み後1週間たっても入金案内が届かない場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください。
- 参加費とは別に材料費が必要になる場合は参加証に明記いたします。
- 講演中のパソコン・タブレット・スマートフォンなどでの録音・メモなどはご遠慮ください。

認知症ケア&看取りケア研修会2016 参加申し込み書 FAX 084-948-0641

請求先・書類送付先住所	(<input type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 個人 ※どちらかに✓をつけてください)	連絡先 <input type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 個人 ※どちらかに✓をつけてください	TEL			
	〒		FAX			
法人名			携帯			
			メール			
No.	参加者名	職種	看取りケア研修会		認知症ケア研修会	
			参加会場 (○をつけてください)	希望コース (○をつけてください)	参加会場 (○をつけてください)	希望分科会アンケート (ご記入ください)
例	山田 太郎	デイ管理者	1/31(日)大阪 2/14(日)東京	Aコース・Bコース Cコース・Dコース	2/28(日)福岡 3/13(日)大阪 3/26(土)横浜	10:00~(分科会①) 12:50~(分科会⑦) 14:50~(分科会⑩)
1			1/31(日)大阪 2/14(日)東京	Aコース・Bコース Cコース・Dコース	2/28(日)福岡 3/13(日)大阪 3/26(土)横浜	10:00~(分科会) 12:50~(分科会) 14:50~(分科会)
2			1/31(日)大阪 2/14(日)東京	Aコース・Bコース Cコース・Dコース	2/28(日)福岡 3/13(日)大阪 3/26(土)横浜	10:00~(分科会) 12:50~(分科会) 14:50~(分科会)
3			1/31(日)大阪 2/14(日)東京	Aコース・Bコース Cコース・Dコース	2/28(日)福岡 3/13(日)大阪 3/26(土)横浜	10:00~(分科会) 12:50~(分科会) 14:50~(分科会)

定員になり次第締め切りますのでお早めにお申し込みください(上記個人情報、本件講座の管理・運営に関してのみ使用します)